

日本電気株式会社が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、日本電気株式会社（以下「本法人」）が発行する第 59 回及び第 60 回、第 61 回サステナビリティ・リンク・ボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2022 年 7 月 12 日）。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標（SPTs）を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことで、調達資金が必ずしも特定の資金用途に限定されません。

本法人は、本債券の発行にあたって、「サステナビリティ・リンク・ボンド・フレームワーク」を策定し、国際資本市場協会（ICMA）が定める「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2020」への適合性について、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、セカンドオピニオンを取得しております。

また、本法人は、SPTsを①Scope1及びScope2におけるCO2排出量削減率、②CDP気候変動のスコアとし、いずれも未達の場合、社債発行額の0.1%相当額を、①が未達の場合、社債発行額の0.1%相当額の10分の7を、②が未達の場合、社債発行額の0.1%相当額の10分の3を、環境保全活動を目的とする団体へ寄付、または、排出権の購入へ充てることとしています。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以上